

# 2022年度 藤原慎一杯 大阪府学生バレーボール男女選手権大会

## 【競技上の注意事項】

### 1. 競技方法

- 1) 2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則に則る
- 2) 男子は、3チームによる予選グループ戦後、上位2チームによる決勝トーナメント  
※ 第1シード、第2シードは予選免除
- 3) 女子は、3チームによる予選グループ戦後、上位2チームによる決勝トーナメント
- 4) 3チームによる予選グループ戦の順位で、勝敗が並んだ場合はセット率、得失点率の高い順とします。

### 2. シードチーム及び抽選

- 1) 前回大会優勝大学を第1シード、準優勝大学を第2シードとします。

\	男子	女子
第1シード	近畿大学	千里金蘭大学
第2シード	大阪国際大学	大阪国際大学

- 2) 予選グループ戦は、フリー抽選を行います。
- 3) 決勝トーナメントは、大阪府学生バレーボール連盟が決定します。

### 3. 選手変更

- 1) 選手の背番号の変更は所定の用紙に記入して、第1試合は試合開始30分前までに届けてください。2試合目以降については前試合の1セット目終了までに届け出てください
- 2) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて  
※ 13名または14名の競技者の場合、リベロは必ず2名でなければならない

### 4. ユニフォーム

- 1) ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）、ショーツを指す。ソックスもユニフォームに含まれる
- 2) ユニフォームは、配色やデザインが統一されていなければならない（リベロ・プレーヤーを除く）
- 3) ソックスについては、長さや色を統一し、刺繍（ロゴマーク等）のワンポイントまでの違いは認められます。尚、くるぶしが見えるような短いソックスを履いての試合への参加は認められません
- 4) アンダーウェアの扱いは、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものではない限り制限されない。また、パワーパンツについては、一切見えないようにしてください

### 5. ベンチ・スタッフ

- 1) ベンチに有効に登録された部長、監督、コーチ、トレーナー、主務（当該大学学生）の各1名、選手14名以内の計19名以内の着席を認めます。ただし、ベンチスタッフのうち最低1名はOVA公認コーチ有資格者（日体協公認も含める）を必要とします。OVA公認コーチ有資格者（日体協公認も含める）は大会当日必ず認定証を携帯してください

※ OVA公認コーチ有資格者（日体協公認も含める）がチームに登録されていない場合、部長以外のスタッフの着席が一切認められません。但し、有資格者が有効に登録されていれば、当該試合に不在であってもその他のスタッフのベンチ着席は認められます

- 2) チームスタッフ（監督、コーチ、トレーナー、主将、主務）の変更（有効に登録されていること）は第1試合は試合開始30分前までに届けてください。2試合目以降については、前試合の1セット目終了までに届け出てください

- 3) ベンチ・スタッフの服装は、ネクタイ・ジャケットを着用した正装（季節や気温に応じてカッターシャツ・スーツパンツのみの着用を認めます。また、季節に応じた正装の際は、カッターシャツを着用していなければならない。）か、チームで統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。尚、部長、監督が正装し、その他の役員が統一されたトレーニングウェアを着用してもよい。但し、Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツは許可されません

- 4) ベンチスタッフは必ず所定のマークを左胸につけてください

## 6. 学生オフィシャル

- 1) ファーストレフェリー、セカンドレフェリー、スコアラー各1名、ラインジャッジ4名、点示2名の計9名

- 2) 両チームの場合

※ 組合せ上段...ファーストレフェリー、ラインジャッジ4名の計5名

組合せ下段...セカンドレフェリー、スコアラー、点示2名の計4名

- 11/12(土)；予選グループ戦

	aコート	bコート	cコート	dコート
1	チーム№3	チーム№6	チーム№6	チーム№3
2	チーム№1	チーム№9	チーム№9	チーム№1
3	チーム№4	チーム№7	チーム№7	チーム№4
4	チーム№2	チーム№8	チーム№8	チーム№2
5	チーム№5			チーム№5

※各グループの試合のないチーム

- 11/12(土)；決勝トーナメント

	aコート	bコート	cコート	dコート
5		b6両チーム	Bグループ1位	
6	a7両チーム	b5両チーム		Aグループ1位
7	a6両チーム			

- 11/13(日)；決勝トーナメント

	Aコート	Bコート	Cコート	Dコート
1	A2両チーム	B2両チーム	C2両チーム	D2両チーム
2	A1敗者	B1敗者	C1敗者	D1敗者
3	A2敗者	B2敗者		
4	A3敗者	B3敗者		
5	A4敗者	B4敗者		
6	A5敗者	B5敗者		

- 3) 人数が不足する場合は、他のチームに依頼してください

- 4) ファーストレフェリー、セカンドレフェリーは、必ず審判用ユニフォームを着用してください

- 5) ラインジャッジは、チームで統一された服装を着用してください

- 6) 担当する試合のプロトコール5分前までに記録席に集合してください

## 7. その他

- 1) 競技違反については、

「全日本大学バレーボール連盟競技違反行為等に関する規程」

「全日本大学バレーボール連盟競技違反等に対する連盟規律委員会内規」

「競技違反行為及びマナー違反行為規律委員会処分基準細則」

いずれも（2014.4.1制定）を適用し、大阪府学生バレーボール連盟で審議します

## 【審判上の注意事項】

1. ボールシステム、プレイングコートについて
  - 1) 試合は全て1ボールシステムで行います
  - 2) エンドライン後方6.5mの位置にサーブ制限ラインを設定します
2. 試合開始前
  - 1) 監督は、プロトコール前、記録用紙に記載された競技者の氏名とナンバーを確認し、サインする。
  - 2) チーム・キャプテンは、試合開始前にサインし、チームを代表してトスをする
  - 3) 各セット開始前に提出されたライン・アップシートは、記録員または副審に手渡した後は変更ができない
3. 競技中
  - 1) 競技の中断（タイム・アウト）は、監督（監督がいない場合はゲーム・キャプテン）が要求
  - 2) 競技の中断（タイム・アウト、競技者交代）の要求は、ノーカウント直後は認められない
  - 3) 交代競技者が交代を要求する時は、コートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入らなければならない。2組の交代競技者の場合、コートに入る2人目は副審がサイドラインへ誘導するまで後方で待機してください
  - 4) 監督は、試合中に試合を妨害あるいは遅延させない限り、自チームのベンチ前のフリーゾーン（アタック・ライン延長戦からウォーム・アップ・ゾーン）の範囲内で立ったまま、あるいは歩きながらコート上の選手に指示することができる
  - 5) 試合中、相手チームに対して選手を牽制するような言動は認められない
    - ① 相手チームの選手の名前や番号を特定するような行為については、罰則の対象となる
    - ② 監督が線審の前で、アピールするようなライン判定をする行為についても罰則の対象となる
  - 6) 不法な行為については、軽度な不法な行為と罰則につながる不法な行為に分けられる
    - ① 「軽度な不法な行為」は、罰則の対象にならないが、口頭またはイエローカードを使用して警告される
    - ② すべての不法な行為にたいする罰則は、個人への罰則である。これは試合終了まで有効であり、記録用紙に記入される
    - ③ 同じ試合で、同じチームメンバーが不法な行為を繰り返した場合は、累進的な罰則になる
4. ワイピング行為について
  - 1) クイック・モップは当該チームから2名まで配置することができる。服装は、ユニフォーム、ベンチ・スタッフの服装以外の統一された服装でなければならない。ベンチの両サイドに1名ずつ待機し迅速に行ってください
  - 2) クイック・モップがいない場合は、コート上の選手が行うので、ワイピング用の布を保持すること
  - 3) 試合開始前、タイム・アウト、及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モップが必ず行うこと
  - 4) クイック・モップが応援、及びチームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止する。それらの行為はチームに対しての警告になる
5. リベロ・プレーヤーの取扱いについて
  - 1) リベロプレーヤーはチームの他の競技者とははっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム（少なくともジャージ（シャツ）だけは）を着用しなければならない。（左右対称とか上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること）
  - 2) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれ同色を用いないように注意すること
  - 3) 2人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互い異なる色のユニフォームを着用することもできる
  - 4) リベロは1名の場合、リベロが負傷した時は、主審の許可を得て、ベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することを認める。この場合に限りリベロ・ビブスの着用（リベロ・ビブスはチームで準備する）を認める。2人目のリベロが負傷した場合は、1名のリベロが負傷した場合と同じ扱いとする
  - 5) リベロ・ビブスの着用は認められない
6. 競技終了後
  - 1) 監督、キャプテンは試合終了後、審判に対して挨拶すること
  - 2) キャプテンは、記録用紙にサインすること

## 【申し合わせ事項】

1. 開館後の競技エリアの開放は、第1試合のチームとします
2. 試合間のボールを使用した練習については、隣接したコートでの試合の妨げにならないように注意してください。尚、ボールを使用する練習は、プロトコール20分後については、プロトコール10分前から、プロトコール30分後については、15分前からボール使用可能とします。
3. 試合間のベンチを入れ替わる際は、前試合の両チームが完全にコート及びベンチを退くまで、競技エリアに入らないよう守ってください
4. 試合前の公式練習に際しては、コート外でのボール拾いをメンバー以外で5名まで許可しますが、コート内に入ること、球出し等の練習に直接携わる行為は禁じます。尚、この5名の服装は、ユニフォームやベンチスタッフの服装以外の服装であること。また、公式練習後は速やかに競技エリアから引き上げてください
5. ベンチには、ボール・飲料水・救急用具等の試合に必要なもの以外の持ち込みを禁止します。尚、ボールかご、部旗は危険なため、公式練習後競技エリアから出してください
6. 応援の際、必ず正規にマスクを着用し、声を発しての応援は禁止します。また、会場により、競技フロアで応援する場合は、指定された場所で応援してください
7. 試合でない場合は、競技フロアで待機することは禁止します。必ず、控室または、観客席で待機してください
8. 試合中、ベンチでのスタッフ、選手、またはウォームアップエリアでは必ず、マスクを正しく着用してください
9. 試合開始後に遅れてきたチーム役員及び選手のベンチへの着席は認めますが、そのセットが終了するまで、役員権の行使は認めません。ただし、選手はその限りではありません
10. 閉会式は行いません。男女準決勝戦、決勝戦終了後、各コートにおいて表彰を行います。該当試合の両チームの選手は、試合終了後、そのままエンドラインで待機してください

## 【注意事項】

1. 大会期間中、選手および学生役員は品位ある行動を望みます
2. 会場に到着したチームは、直ちに受付を完了してください
3. 所持品の管理は各チームの責任において行ってください
4. 試合前の練習は、当日会場で指定された場所以外では絶対に行わないようにしてください
5. 試合中に生じた負傷については、本連盟は応急対応を行います。その責任は一切負いません
6. 各会場の体育館注意事項を守ってください
7. 会場へは公共交通機関をご利用ください
8. この大会は、「関西大学バレーボール連盟新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル」に準じて開催します
9. チームに新型コロナウイルス感染症発生した場合は、各大学の方針に従って対応してください
10. 観客については、各会場校の指示によるものとします